

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公表番号】特表2017-530092(P2017-530092A)

【公表日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-039

【出願番号】特願2017-504375(P2017-504375)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 14/52 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 51/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/19 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

G 0 1 N 33/532 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 16/18 Z N A

C 0 7 K 14/52

C 0 7 K 19/00

A 6 1 K 39/395 Y

A 6 1 K 51/10

A 6 1 K 38/19

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

G 0 1 N 33/532 A

G 0 1 N 33/53 D

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月5日(2019.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コラーゲンに結合する抗体分子であって、前記抗体分子がフレームワーク及び1組の相補性決定領域HCDR1、HCDR2及びHCDR3を含むVHドメイン並びにフレームワーク及び1組の相補性決定領域LCDR1、LCDR2及びLCDR3を含むVLドメインを含み、

HCDR3が配列番号5に示されるアミノ酸配列を有し、

LCDR3が配列番号8に示されるアミノ酸配列を有し、
HCDR1が配列番号3に示されるアミノ酸配列を有し、
HCDR2が配列番号4に示されるアミノ酸配列を有し、
LCDR1が配列番号6に示されるアミノ酸配列を有し、
LCDR2が配列番号7に示されるアミノ酸配列を有する、抗体分子。

【請求項2】

VHドメインが配列番号1に示されるアミノ酸配列を有し、及びVLドメインが配列番号2に示されるアミノ酸配列を有する、請求項1に記載の抗体分子。

【請求項3】

コラーゲンに結合する抗体分子であって、前記抗体分子がフレームワーク及び1組の相補性決定領域HCDR1、HCDR2及びHCDR3を含むVHドメイン並びにフレームワーク及び1組の相補性決定領域LCDR1、LCDR2及びLCDR3を含むVLドメインを含み、

HCDR3が配列番号13に示されるアミノ酸配列を有し、
LCDR3が配列番号16に示されるアミノ酸配列を有し、
HCDR1が配列番号11に示されるアミノ酸配列を有し、
HCDR2が配列番号12に示されるアミノ酸配列を有し、
LCDR1が配列番号14に示されるアミノ酸配列を有し、及び
LCDR2が配列番号15に示されるアミノ酸配列を有する、抗体分子。

【請求項4】

VHドメインが配列番号9に示されるアミノ酸配列を有し、及びVLドメインが配列番号10に示されるアミノ酸配列を有する、請求項3に記載の抗体分子。

【請求項5】

1本鎖Fv(scFv)であるか若しくはscFvを含むか、小免疫タンパク質(SIP)であるか、2特異性抗体であるか、又はIgG分子である、請求項1に記載の抗体分子。

【請求項6】

請求項1に記載の抗体分子、及び殺生物分子、細胞傷害性分子、抗炎症薬又は放射性同位元素を含むコンジュゲート。

【請求項7】

殺生物分子、細胞傷害性分子又は抗炎症薬がサイトカインである、請求項6に記載のコンジュゲート。

【請求項8】

抗体分子及び殺生物分子、細胞傷害性分子、抗炎症薬又はサイトカインを含む融合タンパク質である、請求項1に記載のコンジュゲート。

【請求項9】

請求項1に記載の抗体分子及び検出可能な標識を含むコンジュゲート。

【請求項10】

1本鎖Fv(scFv)であるか若しくはscFvを含むか、小免疫タンパク質(SIP)であるか、2特異性抗体であるか、又はIgG分子である、請求項3に記載の抗体分子。

【請求項11】

請求項3に記載の抗体分子、及び殺生物分子、細胞傷害性分子、抗炎症薬、又は放射性同位元素を含むコンジュゲート。

【請求項12】

請求項3に記載の抗体分子及び検出可能な標識を含むコンジュゲート。

【請求項13】

患者に請求項6に記載のコンジュゲートを投与することを含む、患者における変形性関節症の部位に殺生物分子、細胞傷害性分子、抗炎症薬又は放射性同位元素を送達する方法。

【請求項14】

前記分子が抗炎症薬である、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

患者に請求項11に記載のコンジュゲートを投与することを含む、患者における変形性関節症の部位に殺生物分子、細胞傷害性分子、抗炎症薬又は放射性同位元素を送達する方法

—
°